

ファッション専門課程 ファッションクリエイト学科 ファッションデザインコース 2025年度(R7)

分類					授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法					場所		教員		企業との連携	
区 分	教科 名	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験	実 習	実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
服飾造形	服装造形論Ⅰ	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得し、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解する。(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する。(ディテール名称含む)	1・通年	120	4	○					○		○			
	服装造形デザインⅠ	○			服装造形 デザイン		1・通年	60	2						○	○		○		
	服装造形ソーイングⅠ	○			服装造形 ソーイング	1・通年	360	12		△				○	○		○		○	
	服装造形平面構成Ⅰ	○			服装造形 平面構成	1・通年	90	3						○	○		○			
	服装造形立体構成Ⅰ	○			服装造形 立体構成	1・通年	30	1		△				○	○		○			
	アパレル生産管理Ⅰ	○			生産企画	1・通年	20	2	△					○	○		○		○	
		○			生産管理	1・通年	20								○	○		○		○
		○			アパレル品質論・素材論	1・通年	20		○						○	○		○	○	○
	パターンメイキングⅠ	○			パターンメイキング	1・通年	60	2						○	○		○			
	工業パターンメイキングⅠ	○			工業パターンメイキング	1・通年	30	1						○	○		○			
ファッションデザイン	ファッションデザインⅠ	○			ファッションデザイン画	1・通年	60	3						○	○		○			
		○			クロッキー	1・前期	12							○	○			○		
		○			ファッションデザインCG	1・通年	12							○	○			○		
		○			テキスタイルデザイン	1・前期	6		△					○	○		○			
	ファッションデザインⅡ	○			ファッション色彩学	1・前期	15	1	○					△	○			○		
		○			服装史	1・通年	8		○						○			○		
		○			ファッション情報	1・通年	9		○						○			○		

服飾工芸	服飾工芸Ⅰ	○		服飾手芸	デザインと素材に合わせた技法から、多種多様な技法まで学ぶ。	1・前期	15	2					○	○	○			○	
		○		テキスタイル	テキスタイルを機織を使用し実物製作を通して、構造を習得する。	1・前期	24							○	○			○	
		○		染色	生地の変色技法を実習を通して学ぶ。1年は絞り染めで染めの基礎を学ぶ。	1・後期	6							○	○			○	
		○		アクセサリー	作品にあったアクセサリーを制作し、基礎知識学ぶ。	1・後期	13							○	○		○		
ファッションビジネス	ファッションビジネス論Ⅰ	○		ファッションビジネス論	自分の感性を分析することやファッション業界全般について学ぶ。	1・通年	12	1	○						○		○		
		○		ショップリサーチ	商品開発や広告のための市場調査、分析等を学ぶ。	1・通年	15		○						○	△	○		
		○		コンピュータワーク	コンピュータの基本操作を学ぶ。文章・表計算の習得する。	1・後期	3			○						○		○	
ファッションコーディネート	ファッションコーディネートⅠ	○		コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネート基礎知識を学ぶ。	1・通年	21	2	○						○		○		
		○		コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	1・通年	21			○						○		○	
		○		ヘア・メイク	基礎化粧・肌に合った手入れ方法を習得する。メイクアップ・顔の特徴に合わせたメイク方法やステージで映えるメイク方法の習得する。フレグランスとネイルの基礎を学ぶ。	1・通年	18			○				△		○			○
就職	キャリア教育Ⅰ	○		就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習など実践を学ぶ。	1・後期	13	1	○						○		○		
		○		企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	1・後期	17							○			○		○
一般教養	一般教養Ⅰ	○		茶道	茶道とともに和室での振舞など日本文化を学ぶ。	1・前期	9	1		○					○			○	
		○		ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	1・通年	16							○			○		
		○		美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	1・前期	5		○								○	○	
その他	特別授業	○		校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	1・通年	15	1	○							○	○		○
		○		特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15		○							○			○
	学校行事	○		学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事に参加する。	1・通年	30	1		○						○	○	○	
		学年合計			18教科 35科目	単位 1200単位時間													

区分	分類	教科名	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携	
											講義	演習	実験	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	服装造形Ⅱ	服装造形論	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得し、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解する。(一般知識、概説、、縫製の基礎と応用、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	2・通年	120	4	○					○		○			
	デザインⅡ	服装造形	○			服装造形 デザイン		2・通年	60	2				○		○		○			
	ソーイングⅡ	服装造形	○			服装造形 ソーイング	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得し、パターンメーキング方法を習得する。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術を習得する。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	2・通年	270	9		△			○	○		○			
	平面構成Ⅱ	服装造形	○			服装造形 平面構成		2・通年	90	3				○		○		○			
	立体構成Ⅱ	服装造形	○			服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・スカート応用、原型ダーツ、ブラウスのドレーピング(eduボディ使用)を学ぶ。	2・通年	66	2		△		○		○		○			
	アパレル生産管理Ⅱ	○				生産企画	縫製工場での生産ラインの組立てを理解し生産計画の方法を学ぶ。	2・通年	30	2	△			○			○	○		○	
		○				生産管理	生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学び製造、生産の管理方法を習得する。	2・通年	15					○			○	○		○	
		○				アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ。テキスタイル・アパレルの品質基準、評価法、品質表示等を学び、社会環境、消費性能を意識し、企画・販売などに生かせる知識を	2・通年	15		○					○		○	○		
	パターンⅡ	○				パターンメーキング	デザイン、素材に適したパターンメーキング(作図)方法を学ぶ。	2・通年	120	4				○		○		○			
	アパレルパターンメーキングⅡ	○				工業パターンメーキング	ドレーピングや平面作図より制作したパターンを縫製工場で生産するための工業用パターンに展開する方法を習得する。	2・通年	30	2				○		○		○			
		○				グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を学ぶ。	2・前期	10					○		○		○			
		○				CADパターンメーキング	アパレル産業の設計・生産・製造のプロセスにおける、基本的なアパレルCADの操作を習得する。	2・前期	10			○				○			○		
		○				CADグレーディング	グレーディングから応用編のパターンアレンジまでの、テクニックを学ぶ。	2・前期	10			○				○			○		
ファッションデザイン	ファッションデザインⅡ	○				ファッションデザイン画	多様な画材を利用し、応用レベルの実力を身に付け、個々の感性を活かしたデザイン画を作成することを学ぶ。	2・通年	33	2				○		○		○			
		○				ファッションデザインCG	フォトショップの基本操作オリジナル画像の作成などを学ぶ。	2・通年	18					○		○			○		
	ファッションデザイン学Ⅱ	○				ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ。	2・前期	9	2	○			△		○			○		
		○				モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深める。	2・通年	12		○					○		○			
		○				ファッション情報	雑誌やインターネット、メディアなどからファッションについての情報を収集する方法を習得する。	2・通年	9		○					○		○			
		○				テキスタイルデザイン概論	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	2・通年	18		△			○		○		○			
		○				ファッション概論	一つのデザインを組み合わせ、新しいデザインを学ぶ。	2・前期	12		○			△	○		○				
		○				服飾手芸	デザインと素材に合わせた技法から、多種多様な技法まで学ぶ。	2・通年	5					△	○	○		○			

服飾工芸	服飾工芸Ⅱ	○		ニット	手編み、編地の種類と特質を理解し編地の組織変化を学ぶ。	2・前期	6	1					○	○			○		
		○		帽子	帽子的作り方や構造などの基礎的な知識を製作を通して学ぶ。	2・後期	5						○	○		○			
		○		染色	生地染色技法(型染め)を実習を通して学ぶ。	2・前期	9					○		○			○		
		○		アクセサリー	アクセサリーの基礎知識を制作を通して学ぶ。	2・後期	5					○		○		○			
ファッションビジネス	ファッションビジネスⅡ	○		ファッションビジネス論	自分の感性を分析することやファッション業界全般について学ぶ。ファッションビジネスの基礎知識を理解する。ファッション産業構造の把握と専門業務について学ぶ。	2・前期	15	1	○					○		○			
		○		ショッピングリサーチ	商品開発や広告のための市場調査、分析等を学ぶ。	2・通年	10		○						○	○			
		○		販売実務	販売員の仕事内容や対応の仕方など知識と実践を通して学ぶ。	2・後期	5		○						○		○	○	
ファッションコーディネート	ファッションコーディネートⅡ	○		コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	2・通年	15	1	○					○		○			
		○		コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	2・通年	15			○					○		○	○	
就職	キャリア教育Ⅱ	○		就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習など実践を学ぶ。	2・通年	30	2	○					○			○		
		○		企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	30						○		○	○		○	○
一般教養	一般教養Ⅱ	○		ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	2・前期	15	1					○		○			○	
		○		美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	2・前期	15		○							○	○		
その他	特別授業	○		校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	2・通年	15	1	○							○	○		○
		○		特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	2・通年	15		○						○			○	○
	学校行事	○		学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事に参加する。	2・通年	30	1		○					○	○	○		
学年合計					20教科	37科目	単位					1200単位時間							
総合計					38教科	72科目	単位					2400単位時間							
						学年授業方法	講義		実験・実習・実技・演習										
						授業総合計	講義		実験・実習・実技・演習										
卒業要件履修方法									授業期間等										
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること									1学年の学期区分							2期			
									1学期の授業期間							21週			

- (注)
- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。※(△については30%程度)
- 2 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。